

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年10月9日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年10月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【不適合の発生・処理状況(2024年度第1四半期)における不適合件数の誤りについて】 当社社員が不適合の発生処理状況を四半期毎に報告するため、2024年度第2四半期の資料を作成していたところ、不適合件数の集計データに誤りがあることを確認。 これまでに報告した資料を確認したところ、当社ホームページに掲載済みの2024年度第1四半期の集計データに誤りがあることを確認。 当該資料については当社ホームページに訂正版を掲載予定。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	10月6日
2	<p>【DタンクエリアE1タンク水位計の故障について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室の監視盤において、DタンクエリアE1タンク水位計の指示がふらついていることを確認。 当該水位計を初期状態に戻し再度計測するも、指示のふらつきが解消しないことから、水位計の故障と判断。 また、現場確認時に当該タンク廻りにおける漏えいがないことを確認。 なお、隣接するタンクとの連結弁が開状態であり、隣接タンクの水位により、当該タンクの水位が確認できているため、水位監視に影響なし。 今後、当該水位計の交換を実施予定。</p>	GⅢ	10月6日